

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

十パーセントへの期待

柏市立豊四季中学校 第三学年 川村 露

「これって税抜き？税込み？」

私は、買いたちものや外食へ出かけた時いつもこう思います。百円と記載されているお菓子に十パーセントの税金が加えられるだけで、その値段は百十円となり、ワンコインでは払えなくなりそうです。お金を稼ぐことのできない学生である私にとっては、十円も大切なお金です。それを、元々の額をしつかり払っているのにも関わらず加えて払うなんて正直不満でしかありません。払った税金が倍になって返ってくるというのなら話は別ですが、どこに使われているのかだっていまいち理解していかないのに、そんなに簡単に払いたくありませんが、義務なので払うしかありません。

「義務だから、仕方ないから、そんな理由でお金を払い続けていいのかな。」私はこう思いました。なぜなら、母から、

「もつとお金を大事に使いなさい。」と注意されたからです。夏休みに入って、友達と遊びに行くお金や交通費、外食代など沢山親からもらっていました。気がつけば想像を超える額を使っていました。自分で稼いでいないからこそ、目の前にお金を簡単に使うことができましたが、いざ母にお金がもらえなくなった時非常に困りました。なんとか自分の貯金箱から払わないといけないと思いついて、今まで面倒くさがっていた小銭で会計をするようになったのは、これがきっかけです。同時に、お金の大切さも痛感しました。

そうすると、私は、

「私が納税するために払った十円や百円は、本当に必要な出費なのかな？」と、税金について考え始めました。

まず、もし納税制度が廃止されたらどうなるのかについて調べました。そこで私は衝撃を受けました。そこには、

「税金が無くなると無料で警察や救急車を呼べなくなってしまう」と書いてあったからです。他にも、教育費を親が全部負担しないといけなくなってしまうことや、道路や橋が整備されないままで、修理した人から通行料を求められてしまうかもしれないということなど、とても現実的ではない文ばかりが並んでいました。私は少しずつ、税金について興味をもつようになっていきました。他のサイトを見ると、

「税金は、私達が社会の一員で生活していくための会費」と書いてあるのを見つけました。今まで調べてきた税金の重要さを踏まえて、私は一人一人の税金が、社会に貢献するという事がよく分かりました。だからこそ、自分も幸せに生きるための税金というお金、社会の一員で生活していくための会費という言葉がとても腑に落ちました。直接、払った税金を使っている所を見るのは難しいから、本当に意味があるのかと思う事もあるけど、自分が幸せになるための事を他人事にしては意味がないので、期待を込めて払いたいなと思いました。